

サクライカグマ	<i>Dryopteris gymnohylla</i> (Baker) C.Chr.	絶滅危惧Ⅰ類
		オシダ科
選定理由	もともと生育地が少ないうえ、生育地が人の生活領域に含まれているため、環境の変化による種の存続への圧迫に絶えずさらされている。	写真(岐阜県博物館) 標本 
形態の特徴	夏緑性、常緑性のシダ。根茎は斜上。葉身は三角形状だが最下羽片が大きく、弓なりに曲がっている。最下羽片には長い柄がつく。	
生態的特徴	山地の林下や林縁、路傍の崖地に生育する。	
分布状況	本州(宮城県以西)から九州(大分県)に分布する。岐阜県では県南東部に生育地がある。	
減少要因	林縁部に生育しており、山林開発、道路開発の対象になりやすい。	
保全対策	山林開発、道路建設等による環境変化の防止。	
特記事項		
参考文献		

文責:村瀬正成